



CHARTERED SEPT. 11, 1953

## Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2016 - 17 会長主題

### 招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today. ” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠  
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

#### 2017年 4月 例会 (L Tの月)

と き 4月18日(火) 18:30-20:30  
 と ころ 山手センター 101号室

受 付 尾内規子さん、飯野さん  
 司 会 鈴木田さん  
 開会点鐘 会 長  
 モットー・ワイズソング 一 同  
 聖句朗読・祈祷 鈴木田さん  
 ゲスト・ビジター紹介 会 長  
 <会 食> 一 同  
 ハッピーバースデー

卓話「障がい者施設と地域の関わり」  
 Necco カフェ主催者 金子磨矢子さん  
 ニコニコ 一 同  
 報告・連絡事項 各担当  
 閉会点鐘 会 長  
 写真撮影  
 臨時ヨルダン会 (20:00~)

当番〔2班〕中村、尾内(規)、鈴木田、飯野

#### ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう  
 義務はすべての権利に伴う 』  
 “ To acknowledge the duty  
 that accompanies every right ”

#### 今月の聖句

ごく小さな事に忠実な者は、  
 大きな事にも忠実である。  
 ごく小さな事に不忠実な者は、  
 大きな事にも不忠実である。

ルカによる福音書 16章 10節

#### 4月 HAPPY BIRTHDAY

増野 肇さん 1日 功能文夫さん 18日  
 尾内規子さん 24日 飯島隆輔さん 25日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または  
 下記銀行口座への振込みをお願いします。  
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店  
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

#### 3月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メン	11名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		1名
会員出席率		69%
ニコニコ	5,561円 (累計 51,216円)	
B F	国内切手 1,650g	外国切手 50g



### 3月例会 報告

3月21日(火) 18:30-20:30

山手センター 101号室

参加者: 上妻、浅羽、飯野、飯島、飯島(愛)、  
尾内、尾内(規)、金本、功能、中村、  
松本 11名

ゲスト・ビジター

松村宇久馬さん(諏訪町会総務部長)

合計12名

司会 上妻さん

当夜は地元の諏訪町会の松村さんをご出席くださいました。松村さんは2015年10月の例会に諏訪町会会長の本多誠さんから地域活動について卓話をいただいたときにもご出席くださった方です。

また、本来ならば2月例会で実施するはずだったTOF(Time of Fast)ですが、先月はプログラムの関係で3月に延期したので、当夜の食事はおにぎり2個漬け物少々とお茶だけにしました。

卓話者の松本竹弘さんには2015年3月例会で当時ご担当の山手学舎舎監の立場から「山手学舎を知ろう」と題して卓話をお願いしたことがあり、そして、2016年4月から山手センター館長・山手クラブ担当主事としてよりいっそう身近な関係になってきたところでしたが、4月新年度からは東陽町館長に異動することになりました。

松本さんの今回の2度目の卓話がまた3月例会で、異動のご挨拶がわりにもなったような感じです。

### 卓話「私が関わった福島」要旨

山手クラブの担当主事になってやっと1年になる。山手のブリテンに福島の記事を連載しているのをスゴイなーと思った。

2011年3月11日、私は世田谷にあるYMCA南センターにいたが、木造3階建てが大揺れした。大震災と原発事故による大災害から、国のいうことを信じられるか、危険を予知できるのか、という疑問が生まれた。

東日本大震災復興支援のために、東京YMCAでは福島在住の親子を対象とした「こひつじキャンプ」(定員30人)を2012年1月から実施した。これは、主催・日本基督教団、共催・東京YMCAと会津放射能情報センターという形をとり、山中湖センター、妙高高原ロッジで22回、台湾の教会の支援により台湾の河南海洋センターで6回、計28回開催し、合計789人の親子が参加した。ボランティアを入れると1000人を超える。このキャンプは3月で終了した。

三菱商事の協賛による「リフレッシュキャンプ」は商事の社員ボランティアも参加して母と子の自然教室などのプログラムを実施し、これまでに70回、郡山、福島、いわきその他から2500人以上の参加があった。これは今年も継続される。

### 2017年度の支援プログラムは、

- ・リフレッシュキャンプ(三菱商事と共催)4回
- ・いずみこひつじキャンプ(日本基督教団東北教区と共催)2回
- ・わいわいキッズ(郡山 屋内こどもプログラム)

- ・街頭募金活動
- の4プログラムである。
- 私が福島と関わってきた中で、大事だと思ふことは以下のことである。
- ・こどもの命をだれが守るのか。
  - ・自分の生き方が問われた。
  - ・安全かどうか自分で決める。
  - ・国内外からの支援と保養キャンプの実施
  - ・福島を忘れてはいないというメッセージを発信し続けること。福島支援プロジェクトの継続。
- (まとめ F.K)
- .....

### 3月ヨルダン会 報告

日時：3月29日(水) 19:30-20:30  
 場所：山手センター 204号室  
 出席：金本、尾内、中村、浅羽 4名  
 議事

#### 1、4月例会について

例会 (18:30~20:00)

卓話:金子磨麿子氏 (Necco カフェ主催者)

「障がい者施設と地域の関わり」

集合写真撮影。例会を終了し、引き続いて

臨時ヨルダン会 (20:00~)

新年度に向けて会員の現況等を話し合い、5月例会の準備に充てる。

#### 2、今後のイベントの出欠の確認について

4月例会の出欠はがきで、下記集会の出欠についても確認する。

#### あずさ部アトム評議会

5月13日(土) 11:00~12:30 山手センター  
 登録開始10:30 (登録費 無料)

#### 東京たんぼぼYサービスクラブ15周年記念例会

5月13日(土) 13:30~16:00 山手センター  
 (参加費5,000円、会で一括事前に振り込む)

#### 第20回 東日本区大会

6月3-4日(土、日) 川越市 ウェスタ川越  
 ◎実際の参加申込は、インターネットまたは参加申込書のFAX送信により各自で行うこと。  
 申込締切日は4月15日(土)

#### 3、5月例会の件

山手クラブの今後のあり方を話し合う場とする。山手クラブの活動が限られてきている現状に鑑み、中期計画策定に向けた話し合いを始める。メンバーが勝手に自分の希望を述べるのではなく、クラブ

の現状をどうとらえ、どのような選択肢が現実的であるかを考え、目標を具体化する方向で話合う。

#### 4、山手学舎支援のあり方

5月例会の話し合いでも触れられるであろうが、今後の奉仕活動の中でも特に山手学舎支援について早い時期に見直すべきである。東京YMCAが学舎をどう位置づけているかも確認する必要がある。

#### 5、会計報告

会計の中村メンから現状報告がなされ、合わせて管理方法についての説明があった。

(浅羽)

### おたより

<上妻英夫さん> 「86や 役割記さる弥生かな」86歳と相成り、役割がとうとう3月ブリテンに記載されました。

<浅羽俊一郎さん> 連日のようにトランプ、森友学園、豊洲問題が喧しくマスコミを賑わすかと思えば、稀勢の里優勝のような爽やかなニュースはすぐ過去の出来事に。他方、3.11の福島原発事故は今も頑然と進行形で存続し、これからも何十年と大きな負債としてあり続けるでしょう。これから生まれてくる子ども達(特に避難家族の)に私たちは何と説明したらいいのでしょうか。

「菌」呼ばわりはもつてのほかです。

さて熊本地震被災者の皆さんは4月で1年を迎えます。思い立って3日間ほど熊本YMCAを見舞って来ようと思います。

<飯島愛子さん> 第103回光風会展に出品します。4月19日~5月1日、新国立美術館です。見に来てください。チケット差上げます。

<飯野毅与志さん> クラブのYEEP/STEP担当にえらばれたことうれしく思います。努力していきたいと思っていますのでよろしく。3月例会、4月例会楽しみにしています。

<増野 肇さん> 松本さんの福島の話はききたいのですが休みます。まだ夜の外出は控えておきます。ブリテンで読ませてもらいます。



▼東京YMCA総主事交代

東京YMCA総主事廣田光司氏は3月31日付任期満了により退任し、4月1日付で後任として菅谷 淳(すがや じゅん)氏が第14代総主事に就任しました。

▼室内プール100年

東京YMCAが1917年(大正6年)に日本で初めての室内温水プール付き総合体育館を建設してから今年で100周年となりました。この体育館は鉄筋コンクリート3階建て、建坪約545㎡。プールのほかに、体育館、ポーリングアリーナ、などがあり当時としては画期的な施設でした。体育館ではバスケットボールやバレーボールなど日本に馴染みのなかったスポーツが次々と普及されました。プールでは古代泳法に代わってクロールなど近代泳法が指導されました。また、オリンピック選手など数々の選手たちが練習をおこない、日本の水泳界の国際化に大きく貢献しました。

全国のYMCAでは今年「室内プール100年」を記念し写真パネルの設置などを予定しています。

▼第702回東京YMCA午餐会

「私」を表出できない子どもたち

—今、大人に問われていること—

今、この国の子ども達の多くが、驚くほど「本当の自分」を表出できないまま、親や教師の言うままに、ついていくしかなくなっています。「3.11」と「フクシマ」以降、「死にたい」とは言わずに「消えたい」と言う子どもが増えました。一つの時代の「終わり」をこれから生きねばならないこの子どもたちに対して、私たち大人が、死ぬ前にしなければならぬことは何なのか一緒に考えたいと思います。

【卓話者】安積力也氏(前基督教独立学園高校 校長)

【日時】4月20日(木)12時~13時30分

【会場】東京大学YMCA

\*「東大前」駅下車、改札前エレベーターを上がってすぐ。

【参加費】3,000円(食事なし1,500円)

【問合せ】東京YMCA賛助会事務局

tel:03-3615-5562 4月17日まで

▼高田馬場駅周辺 街頭募金活動のご報告

3月11日(土)11:00~14:30過ぎまで東日本大震災と熊本大地震の復興支援のために高田馬場駅周辺で街頭募金を実施しました。14:46には東日本大震災の犠牲者・被災者を覚え、黙祷

も献げました。

当日は山手コミュニティセンターにつながる会員・ワイズメンズクラブ、ボランティアリーダー、国際ホテル専門学校、社会体育・保育専門学校学生、スイミング・定例野外メンバー・山手学舎舎生など66名が代わる代わる街頭に立ち、大きな声で道行く人たちに呼びかけ、135,667円が寄せられました。募金にご協力いただいたみなさまに感謝いたします。

(松本竹弘)

高田馬場駅前街頭募金に参加して

中村孝誠

3月11日(土)11:00~15:00の間、高田馬場駅で東日本大震災・熊本地震支援の街頭募金を実施しました。昨年と違い気温も高く子供連れの方の募金が目立ちました。総額¥135,667の募金を頂きました。

参加者は66名で内訳は以下の通りです。

プールの子供(6名)、定例活動の子供(2名)、保護者(1名)、リーダー(16名)、ホテル学校(13名)、学舎生(5名)、社体保生(7名)、スタッフ(5名)、ワイズ(11名)、

山手ワイズの参加者は金本、飯野、中村でした。

山手センター人事異動

(敬称略、カッコ内は前職)

山手会館 館長 宮崎 純(国際ホテル専門学校責任者)

山手コミュニティ主任主事 星住 秀一(しのめYMCAこども園)

山手コミュニティ主任主事補佐 三浦 壮一郎(国際ホテル専門学校)

<他センターへの異動職員>

松本竹弘(山手会館館長)→東陽町センター館長  
岡田ナスカ(野外活動スタッフ)→南センター副館長

宮田諭(プールスタッフ)→グランチャ東雲

<出向>

望月 温(国際ホテル専門学校・たんぼぼクラブ担当主事)→大阪YMCA

松本さん 大変お世話になり、ありがとうございました。これからもよろしく。

宮崎さん、星住さん、三浦さん

どうぞよろしく願います。

山手ワイズ一同